（別記）

令和８年度当麻町地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当地域は、上川地方のほぼ中央部に位置し、水田総面積に占める水稲作付けの割合が約７３％で、水稲栽培を主体とした中、農業経営の安定を図るべく施設野菜・花きとの複合経営、一部畑作物（大豆、そば、飼料作物）の栽培が行われている。

当地域においては、過去より主食用米を中心に水稲作付けの推進を図り、非主食用米を転作作物の中心作として推奨し、当麻農業の経営安定を図ってきた。今年度の、主食用米の生産の目安は、前年度の作付実績より約２５ｈａ増加している。当地域では、主食用米を最大限作付けし、需給環境において国の示す適正在庫量の確保につなげ、水張転作を推進し続けることで、当地域の継続的な水田機能を維持・確保し当麻農業の経営安定に繋げていくことが重要である。

地域の課題としては、農業者の高齢化が進み、農家戸数が減少している傾向であり、更には生産コストが上昇し続けている。将来の農業の担い手を育成・確保すべく、的確に情報を発信することが重要であるとともに、経営体当たりの耕地面積が拡大傾向にあるため、スマート農業や省力化栽培等の導入により、農作業の効率化を図ることが一層求められてくると捉えている。

２　高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

当地域においては、水稲と施設園芸品目の複合経営の充実を推奨しており、野菜・花きなどの高収益作物に対しては、産地交付金等を活用することで、作付面積の維持・拡大を図り、水田における同作物の作付面積は昨年約５６ｈａであった。

高収益作物については、産地と消費地がより結びつく販売展開を行い、今後想定される水田活用の直接支払交付金の見直しに対応していくことで経営の安定を図っていく。生産者に対しては、産地交付金や施設栽培に関する補助制度などに関し、適切な情報提供を行い、当再生協議会が推進する基幹作物の安定的な生産・供給を図り、収益力の向上による経営の高水準化を目指す。

３　水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

近年の農家戸数の減少、高齢化に対応し、作物の作付面積の維持・拡大を実現するため、各生産者の事情や令和８年３月に変更した「地域計画」の内容を踏まえながら、各関係機関と連携し今後の担い手への計画的な農地の集積・集約化を推し進める。当地域においては、今後も水稲を中心とした施設園芸品目の複合経営に取り組んでいき、将来にわたって水田が有効利用されるよう取組むとともに、水稲を組み入れない作付体系が定着している圃場を中心に、国の水田政策の見直しについて情報を集めながら畑作物の推進について検討し、農地の維持管理を行う。

また、ブロックローテーションについては、米のタンパク質含有率の増加や、排水性・作業効率の低下等の現場の課題を把握しつつ、関係機関と連携して必要な対応策を検討しながら、大豆・そば等の連作障害回避等を目的に推進を検討する。

４　作物ごとの取組方針等

（１）主食用米

競争力の高い主食用米は、他産地との差別化を図り、販売業者等の需要に応えるため、独自の白米販売強化と販路拡大に努める。また、農業者所得の柱となるため、栽培の低コスト化・省力化の推進を強化し、生産基盤の維持・拡大することが重要である。

（２）非主食用米

ア　飼料用米

需要動向や販売先等の意向調査をし、水張面積を維持していくため、多収品種に限らず、飼料用米を作付け転換の一つのツールとして位置づけ、生産に取り組む。

イ　米粉用米

需要動向や販売先等の意向調査をし、水田機能維持・確保のための水張転作の一つのツールとして需要に応じて生産に取り組む。

ウ　新市場開拓用米

国の示す、輸出米の生産を増やし、国内の需給がひっ迫した際には、国内に振り向け、需給の安定を図るため、飼料用米、米粉用米を除く新規需要米の生産振興を図る。

エ　加工用米

加工米飯など「米」としての品質が求められる用途の引き合いがあるため、加工用米の需要動向を注視しながら、水張転作の重要品目として取り組み、主食用米の調整手段ではなく、売れる米として生産に取り組む。

オ　酒造好適米

酒造好適米の安定供給が求められており、産地と実需の結びつきの強化を進め需要に応じて生産に取り組む。

（３）麦、大豆、飼料作物

需要動向や販売先等の意向調査をし、需要に対応でき、且つ収量性の高い優良品種への模索・転換を図った上で生産を図る。また、安定した品質・収量を目指し、且つコスト削減に努めるために、湿害を回避するための排水対策の取り組みと除草対策等の推進を強化し、また増収・品質向上を目的に牧草の種子の追加播種を促し、更には団地化による作業効率の向上により生産コスト削減を図り、作付面積の維持・拡大と、品質及び収量の安定化を図る。

（４）そば、なたね

転作作物として重要な農作物であるため、収量性向上に向けて、湿害を回避するための排水対策の取り組みと除草対策等の推進を強化し、更には団地化による作業効率の向上により生産コスト削減を図り、作付面積の維持・拡大と、品質及び収量の安定化を図る。

（５）高収益作物（野菜・花き等）

当地域における水田農業にとって重要な産地ブランドの多い作物であり、販売先からの需要も高いため、水稲との複合経営によって、農業所得の確保と産地ブランドとし

て更なる強化を図るべく地域振興作物として位置づけ奨励を図る。
　安全・安心・安定した農産物が求められる中、今後産地として生き延びていくための大きなツールとなることから、消費者・実需者からニーズの高い野菜、花きに対して、作付面積の維持・拡大を図る。

（６）耕畜連携
　利用協定に基づき生産された飼料作物の供給を受けた家畜の排せつ物からなるたい肥を散布することで資源循環を図る。

５　作物ごとの作付予定面積等　～　**８　産地交付金の活用方法の明細**

別紙のとおり

※　農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

別紙

５　作物ごとの作付予定面積等

（単位：ha）

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和８年度の作付目標面積等	
		うち二毛作		うち二毛作		うち二毛作
主食用米	2,369		2,376		2,376	
備蓄米	0		0		0	
飼料用米	2		2		2	
米粉用米	0		0		0	
酒造好適米	0		1		1	
新市場開拓用米	14		16		16	
WCS用稲	0		0		0	
加工用米	185		199		199	
麦	0		0		0	
大豆	100		93		93	
飼料作物	236		216		216	
・子実用とうもろこし	10		18		18	
そば	146		134		134	
なたね	0		0		0	
地力増進作物	1		8		8	
高収益作物	33		34		34	
・野菜	30		31		31	
・花き・花木	2		2		2	
・果樹	1		0		0	
・その他の高収益作物	0		0		0	
その他	0		0		0	
畑地化	3		34		34	

※　畑地化の面積については、前年度作付面積等は内数、当年度及び令和8年度作付予定面積等は
　外数で計上しており、記載方法が異なっています。

６ 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）		目標値	
1	そば・デントコーン・子実とうもろこし	品質・収量向上除草対策加算		（7年度）		（8年度）	
			作付面積（そば）	146	ha	160	ha
			平均収量（そば）	33	kg/10ａ	65	kg/10ａ
			作付面積（デントコーン）	0	ha	0	ha
			平均収量（デントコーン）	0	kg/10ａ	0	kg/10ａ
			作付面積（子実とうもろこし）	10	ha	18	ha
			平均収量（子実とうもろこし）	331	kg/10ａ	450	kg/10ａ
2	大豆	品質・収量向上除草対策加算		（7年度）		（8年度）	
			作付面積	100	ha	155	ha
			1等大豆生産率	0.8	%	6.0	%
3	大豆	品質・収量向上除草対策加算		（7年度）		（8年度）	
			作付面積	100	ha	155	ha
			1等大豆生産率	0.8	%	6.0	%
4	そば・大豆・デントコーン（子実とうもろこし含む）・牧草	排水対策助成		（7年度）		（8年度）	
			作付面積（そば）	146	ha	160	ha
			平均収量（そば）	33	kg/10ａ	65	kg/10ａ
			作付面積（大豆）	100	ha	155	ha
			平均収量（大豆）	223	kg/10ａ	230	kg/10ａ
			作付面積（デントコーン）	0	ha	0	ha
			平均収量（デントコーン）	0	kg/10ａ	0	kg/10ａ
			作付面積（子実とうもころし）	10	ha	18	ha
			平均収量（子実とうもろこし）	331	kg/10ａ	450	kg/10ａ
			作付面積（牧草）	226	ha	280	ha
			平均収量（牧草）	307	kg/10ａ	310	kg/10ａ
5	大豆	品質安定加算		（7年度）		（8年度）	
			作付面積	100	ha	155	ha
			1等大豆生産率	0.8	%	6.0	%
6	そば	品質安定加算		（7年度）		（8年度）	
			作付面積（そば）	146	ha	160	ha
			平均収量（そば）	33	kg/10ａ	65	kg/10ａ
			等級そば生産率	98.3	%	99.0	%
7	子実とうもろこし	品質安定加算		（7年度）		（8年度）	
			作付面積	10	ha	18	ha
			販売金額	14,187	円/10ａ	17,550	円/10ａ

8	そば・野菜・花き・豆類・馬鈴しょ・デントコーン・子実とうもろこし	担い手振興作物加算		(7年度)		(8年度)	
			作付面積（そば）	146	ha	160	ha
			担い手割合（そば）	71.4	%	75.0	%
			地域販売金額（そば）	13,302	千円	20,000	千円
			作付面積（野菜・花き）	32	ha	45	ha
			担い手割合（野菜・花き）	47.6	%	70.0	%
			地域販売金額（野菜・花き）	726	百万円	900	百万円
			作付面積（豆類・馬鈴薯）	31	a	55	a
			担い手割合（豆類・馬鈴薯）	35.7	%	40.0	%
			地域販売金額（豆類・馬鈴薯）	109	千円	155	千円
			作付面積（デントコーン・子実とうもろこし）	10	ha	18	ha
			担い手割合（デントコーン・子実とうもろこし）	50.0	%	77.0	%
			地域販売金額（デントコーン・子実とうもろこし）	1,408	千円	3,900	千円
9	野菜・花卉	振興作物助成		(7年度)		(8年度)	
			作付面積	32	ha	45	ha
10	豆類・馬鈴薯	振興作物助成		(7年度)		(8年度)	
			作付面積	31	a	55	a
			販売金額	109	千円	155	千円
11	地力増進作物	振興作物助成		(7年度)		(8年度)	
			連作回避を目的とした作付面積	1	ha	5	ha
			基盤整備に伴う作付面積	0	ha	10	ha
12	大豆・そば・牧草・デントコーン（子実とうもろこし含む）	団地化加算		(7年度)		(8年度)	
			作付面積（大豆）	100	ha	155	ha
			団地化率（大豆）	40.6	%	60.0	%
			作業時間削減率（大豆播種）	16.2	%	30.0	%
			作付面積（そば）	146	ha	160	ha
			団地化率（そば）	19.3	%	30.0	%
			作業時間削減率（そば播種）	7.7	%	12.0	%
			作付面積（牧草）	226	ha	280	ha
			団地化率（牧草）	64.0	%	70.0	%
			作業時間削減率（牧草掃除刈）	28.4	%	34.0	%
			作付面積（デントコーン）	0	ha	0	ha
			団地化率（デントコーン）	0.0	%	0.0	%
			作業時間削減率（デントコーン播種）	0.0	%	0.0	%
			作付面積（子実とうもろこし）	10	ha	18	ha
			団地化率（子実とうもろこし）	0.0	%	33.0	%
			作業時間削減率（子実とうもろこし播種）	0.0	%	12.0	%
13	大豆（黒大豆含む）	条件不利地生産性向上加算		(7年度)		(8年度)	
			取組面積	12	ha	14	ha
			条件不利地での取組率	42.0	%	64.0	%
			平均収量	223	kg/10ａ	230	kg/10ａ
14	そば・牧草	条件不利地生産性向上加算		(7年度)		(8年度)	
			取組面積（そば）	48.3	ha	50	ha
			条件不利地での取組率（そば）	51.2	%	74	%
			平均収量（そば）	33	kg/10ａ	65	kg/10ａ
			取組面積（牧草）	54.2	ha	100	ha
			条件不利地での取組率（牧草）	18.6	%	60	%
			平均収量（牧草）	307	kg/10ａ	310	kg/10ａ

15	牧草	飼料作物団地化特別加算		（7年度）		（8年度）	
			作付面積	226	ha	280	ha
			3ha団地化率	81.5	%	85	%
			作業時間削減率	36.2	%	40	%
16	大豆・そば・デントコーン（子実とうもろこし含む）	品質・収量向上技術取組加算【土壌改良】		（7年度）		（8年度）	
			作付面積（そば）	146	ha	160	ha
			平均収量（そば）	33	kg/10ａ	65	kg/10ａ
			作付面積（大豆）	100	ha	155	ha
			平均収量（大豆）	223	kg/10ａ	230	kg/10ａ
			作付面積（デントコーン）	0	ha	0	ha
			平均収量（デントコーン）	0	kg/10ａ	0	kg/10ａ
			作付面積（子実とうもろこし）	10	ha	18	ha
			平均収量（子実とうもろこし）	331	kg/10ａ	450	kg/10ａ
17	そば	品質・収量向上技術取組加算【増収施肥】		（7年度）		（8年度）	
			作付面積	146	ha	160	ha
			平均収量	33	kg/10ａ	65	kg/10ａ
18	大豆	品質・収量向上技術取組加算【増収施肥】		（7年度）		（8年度）	
			作付面積	100	ha	155	ha
			平均収量	223	kg/10ａ	230	kg/10ａ
19	デントコーン（子実とうもろこし含む）	品質・収量向上技術取組加算【増収施肥】		（7年度）		（8年度）	
			作付面積（デントコーン）	0	ha	0	ha
			平均収量（デントコーン）	0	kg/10ａ	0	kg/10ａ
			作付面積（子実とうもろこし）	10	ha	18	ha
			平均収量（子実とうもろこし）	331	kg/10ａ	450	kg/10ａ
20	牧草	品質・収量・供給力向上取組加算		（7年度）		（8年度）	
			作付面積	226	ha	280	ha
			平均収量	307	kg/10ａ	310	kg/10ａ
21	飼料作物	資源循環助成（耕畜連携）		（7年度）		（8年度）	
			作付面積	226	ha	280	ha
			取組率	12.8	%	25	%
22	新市場開拓用米	新市場開拓用米取組拡大助成（追加配分）		（7年度）		（8年度）	
			取組面積	14	ha	25	ha
23	新市場開拓用米	複数年契約助成（追加配分）		（7年度）		（8年度）	
			取組面積	14	ha	25	ha
24	そば	そば作付助成（追加配分）		（7年度）		（8年度）	
			作付面積	146	ha	160	ha
			平均収量	33	kg/10ａ	65	kg/10ａ
			等級そば生産率	98.3	%	99	%
			作業時間削減率	7.7	%	11	%

※　必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
※　目標期間は３年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：北海道

協議会名：当麻町地域農業再生協議会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 （円/10a）	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	品質・収量向上除草対策加算	1	600	そば・デントコーン（子実とうもろこし含む）（いずれも基幹作物のみ）	除草剤散布1回以上
2	品質・収量向上除草対策加算	1	1,200	大豆（基幹作物のみ）	除草剤散布（土壌処理・茎葉散布　各1回以上）
3	品質・収量向上除草対策加算	1	1,400	大豆（基幹作物のみ）	除草作業（カルチ作業）2回以上
4	排水対策助成	1	2,000	そば・大豆・デントコーン（子実とうもろこし含む）・牧草（いずれも基幹作物のみ）	心土破砕の施工等
5	品質安定加算	1	5,800	大豆（基幹作物のみ）	刈取・乾燥調製委託、かつ地区別統一播種基準に基づき播種作業
6	品質安定加算	1	8,100	そば（基幹作物のみ）	刈取・乾燥調製委託、かつ地区別統一播種基準に基づき播種作業
7	品質安定加算	1	9,200	子実とうもろこし（基幹作物のみ）	刈取・乾燥調製委託、かつ地区別統一播種基準に基づき播種作業
8	担い手振興作物加算	1	9,300	そば・野菜・花き・豆類・馬鈴しょ・デントコーン・子実とうもろこし（品目名については別紙参照）（いずれも基幹作物のみ）	認定農業者・認定新規就農者であること
9	振興作物助成	1	38,000	野菜・花き（品目名は別紙参照）（いずれも基幹作物のみ）	助成対象作物（野菜・花き）の作付け
10	振興作物助成	1	20,000	豆類、馬鈴しょ（品目名は別紙参照）（いずれも基幹作物のみ）	助成対象作物（豆類・馬鈴しょ）の作付け
11	振興作物助成	1	4,700	地力増進作物（品目名は別紙参照（基幹作物のみ）	畑作物の連作障害の回避を目的とした地力増進作物の作付け
12	団地化加算	1	8,500	大豆・そば・牧草（品名については別紙参照）・デントコーン（子実とうもろこし含む）（いずれも基幹作物のみ）	単一作物での連担による5ha以上の団地形成
13	条件不利地生産性向上加算	1	8,500	大豆（黒大豆含む）（いずれも基幹作物のみ）	条件不利地における融雪期の簡易溝切作業
14	条件不利地生産性向上加算	1	8,500	そば・牧草（品目名については別紙参照）（いずれも基幹作物のみ）	そば：無人ヘリによる追肥等、牧草：1番草の掃除刈り等
15	飼料作物団地化特別加算	1	10,900	牧草（品目名については別紙参照）（いずれも基幹作物のみ）	単一作物での連担による概ね3ha以上の団地形成
16	品質・収量向上技術取組加算【土壌改良】	1	1,500	大豆・そば・デントコーン（子実とうもろこし含む）（いずれも基幹作物のみ）	土壌改良成分の含まれた融雪剤の散布等
17	品質・収量向上技術取組加算【増収施肥】	1	800	そば（基幹作物のみ）	窒素成分量3kg（10a当たり）以上の施肥
18	品質・収量向上技術取組加算【増収施肥】	1	500	大豆（基幹作物のみ）	緩効性肥料による施肥
19	品質・収量向上技術取組加算【増収施肥】	1	500	デントコーン（子実とうもろこし含む）（いずれも基幹作物のみ）	窒素成分量4kg（10a当たり）以上の施肥
20	品質・収量・供給力向上取組加算	1	1,000	牧草（品目名については別紙参照）（いずれも基幹作物のみ）	適正播種量（2.0kg～2.5kg）で完全更新に伴う播種の実施等
21	資源循環助成（耕畜連携）	3	13,000	飼料作物（品目名については別紙参照）	利用供給協定を結び堆肥を散布
22	新市場開拓米取組拡大助成（追加）	1	20,000	新市場開拓用米	新市場開拓用米の作付け
23	複数年契約助成（追加）	1	10,000	新市場開拓用米	新市場開拓用米の複数年契約締結 ※コメ新市場開拓等促進事業で採択された者が対象
24	そば作付け助成（追加）	1	20,000	そば	除草剤散布1回以上

※1　二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携）」と記入してください。
　　ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
　　なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。
※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3　産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。
※4　産地交付金の活用方法の明細（個票）の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

産地交付金の活用方法の明細に定める作物一覧

	作物		品種
1	豆類		小豆
2	（大豆・黒大豆を除く）		菜豆（いんげん）
3			えんどう
4	ばれいしょ		（生食用）
5	その他作物	野菜	あさつき
6		（海外品種も含む）	明日葉
7			味美菜
8			アスパラガス（グリーン）
9			アスパラガス（ホワイト）
10			アスパラガス（紫）
11			アーティチョーク
12			いちご
13			いんげん
14			うど
15			えだまめ
16			オクラ
17			かぶ
18			かぼちゃ
19			カリフラワー
20			きのこ
21			キャベツ（キャベツ類全般）
22			キクイモ
23			きゅうり
24			ぎょうじゃにんにく
25			グリーンリーフ
26			クレソン
27			ケール
28			ゴーヤ
29			ごぼう
30			こまつな
31			ささげ
32			さつまいも
33			さといも
34			サニーレタス
35			さやいんげん
36			さやえんどう
37			サラダ菜
38			サンチュ
39			ししとう
40			しそ
41			しゅんぎく
42			食用キク
43			食用ゆり（ゆりね）
44			シロウリ
45			しろ菜
46			スイートコーン
47			すいか
48			ズッキーニ
49			スナップエンドウ
50			スティックセニョール（茎ブロッコリー）
51			セルリー
52			セルバチコ
53			そらまめ
54			タアサイ
55			だいこん
56			だいこんな
57			たいな
58			たまねぎ
59			チコリ
60			ちんげんさい
61			テンダーボール（花ニラ）
62			とうがらし
63			冬瓜
64			トマト
65			ながいも
66			なす
67			ナスタチウム（キンレンカ）
68			なんばん
69			にがうり
70			にら
71			にんじん
72			にんにく
73			にんにくの芽
74			ねぎ（ねぎ類全般）
75			野沢菜
76			はくさい
77			パセリ
78			パプリカ
79			ハーブ類
80			ピーマン

	作物		品種
81	その他作物	野菜	ビーツ
82		（海外品種も含む）	ブロッコリー
83			ベビーリーフ
84			ほおずき
85			ほうれんそう
86			マカ
87			まくわうり（カンロ）
88			マーシュ
89			実えんどう（グリーンピース）
90			みずな
91			みつば
92			ミニかぼちゃ
93			ミニトマト
94			みぶ菜
95			メロン
96			モロヘイヤ
97			ヤーコン
98			山わさび
99			ゆりね
100			らっきょう
101			ラディッシュ
102			リーフレタス
103			ルッコラ
104			ルバーブ
105			レタス
106			わさび
107		花き	アイリス
108			アゲラタム
109			アザミ
110			アスクレピアス
111			アスター
112			アスチルベ
113			アストランチャ
114			アスパラガス（観賞用）
115			アトランティアマヨール
116			アネモネ
117			アマランサス
118			アリウム
119			アリストロメリア
120			アルケミラ
121			アルブカ
122			イキシア
123			イタリアンルスカス
124			イワチドリ
125			インバチェンス
126			ウイキョウ
127			ウィンターグラジオラス
128			うばゆり（ユリ科）
129			エキノプシス
130			エボタ
131			エリンジウム
132			エレムルス
133			エンレイソウ
134			オーニソガラム
135			オダマキ
136			オレガノ
137			カーネーション
138			ガーベラ
139			カキツバタ
140			カスミソウ
141			かぼちゃ（観賞用）
142			ガマ（ガマ科）
143			カラー
144			カンゾウ
145			カンパニュラ
146			ギガンジウム
147			キキョウ
148			キク
149			菊アスター（キク科）
150			キバナシャクナゲ
151			切葉類
152			キャラウェイ
153			キャンディタフト
154			金風車（キク科）
155			きんぎょそう
156			クジャクソウ
157			グラジオラス
158			グラスペディア
159			クリスマスローズ
160			クレマチス

	作物		品種
161	その他作物	花き	グロリオーサ
162			けいとう
163			小菊
164			コスモス
165			コティナス
166			コデチャ
167			コデマリ
168			コマクサ
169			コワニー（ユリ科）
170			サイネリア
171			桜小町
172			サクラソウ
173			サリクトラム
174			サンダーソニア
175			シオン（キク科）
176			シクラメン
177			ジニア
178			シモツケ
179			シャクヤク
180			宿根デージー
181			ショウブ
182			シレネ
183			白妙菊
184			スイートピー
185			スイセン
186			スカビオサ
187			スキミア
188			スズメウリ
189			スズラン
190			スターチス
191			スタキス
192			スティバ
193			ストック
194			ストロベリーコーン
195			ストロベリースティック
196			スナップ
197			スピードリオン
198			スモークグラス
199			スモグソウ
200			セダム
201			セファロフォラ
202			ゼラニウム
203			セロシオ
204			セントーレアオリエンタリス
205			千日紅
206			センニチソウ
207			ソリダコタラ
208			ソリダスター
209			ダイアンサス
210			大根草
211			大文字草
212			ダスティーミラー
213			ダリア
214			チドリソウ
215			チューリップ
216			チョコレートコスモス
217			ツルコケモモ
218			てまり草
219			テマリシモツケ
220			デルフィニウム
221			とうがらし（観賞用）
222			トキソウ
223			トリカブト
224			トリトマ
225			トルコギキョウ
226			トロリウス
227			ナス（観賞用）
228			ナデシコ
229			ナルコユリ
230			ニゲラ
231			ネマヘラソウ
232			ネムリヒメ（アヤメ科）
233			ネリネ
234			ハス
235			とうきび（観賞用）
236			ハナナス
237			バニカム
238			バブチシア
239			バラ
240			バラ実もの（切枝）

	作物		品種
241	その他作物	花き	バンジー
242			ビオラ
243			ビブルナム
244			ヒマワリ
245			ヒメヒコダイ
246			ヒメヒマワリ
247			ヒャクニチソウ
248			ビンビネラ
249			フェンネル
250			ふじなでしこ
251			フジバカマ
252			ブッチーニ（ウリ科）
253			ブプレウルム
254			フリージア
255			ブルースター
256			ブルースプレー
257			ブルネビラ
258			フロックス
259			ペコニア
260			ペチュニア
261			ベニバナ（カルタムス）
262			ヘリクリサム
263			ヘレニューム
264			ベロニカ
265			紅花山シャクヤク
266			ポインセチア
267			ホオズキ
268			ボタン
269			ホトトギス
270			マーガレット
271			マトリカリア
272			マンサク
273			ミズヒキ
274			ムギ（観賞用）
275			ムスカリ
276			メコノプシス
277			メロン（観賞用）
278			モナルダ
279			モルセラ
280			ヤマゴボウ
281			山ブドウ（ブドウ科）
282			ユーカリ
283			ユーストマ
284			ユーバトリウム
285			ユーホルビア
286			ユキヤナギ（バラ科）
287			ユリ
288			洋ラン類
289			ラークスパー
290			ラナンキュラス
291			ラベンダー
292			ラムズイヤー
293			リアトリス
294			リナリア
295			リオン
296			リシマキア
297			リンドウ
298			ルドベキア
299			ルリタマアザミ
300			レースフラワー
301			レンゲソウマ
302			ローズマリー
303			ロマネスコ
304			ワレモコウ
305			利休草
306		地力増進作物	えん麦
307			とうもろこし
308			ソルガム
309			スーダングラス
310			アカクローバー
311			アルサイククローバー
312			クリムソンクローバー
313			ベッチ類
314			カラシナ類
315			はぜりそう
316			マリーゴールド
317			ひまわり
318			キガラシ
319			ライ麦
320			

牧草（飼料作物）

青刈りトウモロコシ・青刈りソルガム・テオシント・スーダングラス・オーチャードグラス
チモシー・イタリアンライグラス・ペレニアルライグラス・ハイブリットライグラス・スムーズブロムグラス・トールフェスク・メド―フェスク・フェストロリウム・ケンタッキーブルーグラス・リードカナリーグラス・バビアグラス・ギニアグラス・カラードギニアグラス・アルファルファ・オオクサビキ・アカクローバー・シロクローバー・アルサイクローバー・ガレガ・ローズグラス・パラグラス・パンゴラグラス・ネピアグラス・セタリア・ソルガム